

高等学校新学習指導要領

必修科目「現代の国語」「言語文化」について

●現代の国語

「科目の概要」

「現代の国語」は「実社会に必要な国語の知識や技能」を習得させることを目標とした二単位の必修科目で、「内容の取扱い」に示された各領域における配当時間の目安は次の通りです。

話すこと・聞くこと	20～30単位時間
書くこと	30～40単位時間
読むこと	10～20単位時間
総時数	70 単位時間

ここからもわかる通り、「現代の国語」では、授業の大半を「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導に充てることになり、「読むこと」に充てられる時間は、総時数の30%以下に留まります。その意味では、現行課程の「国語総合」より「国語表現」に近い印象の科目ともいえます。

「教材の内容」

こうした科目の特性を踏まえ、「現代の国語」で扱える教材は、学習指導要領では次のように記載されています。

3 内容の取扱い(4)

ア 内容の「思考力、判断力、表現力等」の

「C読むこと」の教材は、現代の社会生活に必要なとされる論理的な文章及び実用的な文章(するごと)。

ここで示される「論理的な文章」とは、説明文・論説文・評論文・批評文などを指し、「実用的な文章」とは、実社会において、具体的な何かの目的やねらいを達するために書かれた文章のことで、新聞や広報誌などの報道や広報の文章、会議などの記録や報告書、法令文などを例としてあげることができます。ただし、ここで留意したいのは、これらはいずれも「読むこと」の教材として取り上げることができる文章であるという点です。

一方、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導で使用できる教材については、次のような記載があります。

3 内容の取扱い(4)

イ 内容の「思考力、判断力、表現力等」の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる

言語活動が十分行われるよう教材を選定す(る)こと。

つまり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で使用できる教材については、「読むこと」のように明確な規定があるわけではありません。ただし、「それぞれの(2)に掲げる言語活動が十分に行われるよう教材を選定すること」とあるため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で示される言語活動を行うために必要な教材とは何かを慎重に吟味し、生徒の状況に応じて教材を選定していく必要があります。

「指導上の留意点」

「読むこと」については、使用できる教材に規定があるものの、従来の読解を中心とする指導から大きな変化があるわけではありません。

一方、「話すこと・聞くこと」「書くこと」においては、そうした読解を最終的に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習につなげる必要があります。例えば、評論文などを教材として指導する場合には、「話すこと・聞くこと」「書くこと」を前提とした読解が必要になってきます。

●言語文化

「科目の概要」

「言語文化」は「我が国の言語文化に対する理解を深める」ことなどを目標として掲げた二単位の必修科目で、「内容の取扱い」に示された各領域における配当時数の目安は次の通りです。

話すこと・聞くこと	—
書くこと	5～10 単位時間
読むこと	古典40～45単位時間 近代以降20単位時間
総時数	70 単位時間

「現代の国語」とは異なり、「話すこと・聞くこと」に関する指導事項は設けられておらず、「書くこと」の配当時数も5～10単位時間に留まるため、その大半が「読むこと」の指導に充てられることになります。ただし、「読むこと」の配当時数は、古典と近代以降の文章でそれぞれ設定されており、古典と近代以降の文章の両面から我が国の言語文化に対する理解を深めることが求められています。

「教材の内容」

こうした科目の特性を踏まえ、「言語文化」で扱える教材は、学習指導要領では次のように記載されています。

3 内容の取扱い (4)

ア 内容の「思考力、判断力、表現力等」の「B読むこと」の教材は、「古典及び近代以降

の文章とし、日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含めるとともに、我が国の言語文化への理解を深める学習に資するよう、我が国の伝統と文化や古典に関連する近代以降の文章を取り上げること。また、必要に応じて、伝承や伝統芸能などに関する音声や画像の資料を用いることができること。

「読むこと」の指導で使用できる教材は「古典及び近代以降の文章」とされています。ここでの「古典」とは古文と漢文を指し、「近代以降の文章」とは詩歌・小説・随筆・戯曲・説明・論説・評論・記録・報告・報道・手紙など、多種多様なものがその例としてあげることができま

す。ただし、ここで留意したいのは、「内容の取扱い」で示された「近代以降の文章」による20単位時間の指導とは、言語文化を理解し言語文化に親しむために、「近代以降の文章」を取り上げた指導を指しているという点です。「言語文化」という科目が「我が国の言語文化に対する理解を深める」ことなどを目標に掲げている以上、「近代以降の文章」を取り上げた指導においても、この科目目標が達成できなければなりません。つまり、「近代以降の文章」には多種多様なものが想定できるものの、その文章は、あくまでも言語文化を理解し、親しむための文章でなくてはならないということです。その意

味では、例えば小説を教材として取り上げる場合でも、「我が国の言語文化に対する理解を深める」という目標を達成できない小説は、教材として取り上げることができないということになります。

また、「内容の取扱い」では、「日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含める」という留意事項も盛り込まれています。特に日本漢文は、現行課程の「国語総合」の学習指導要領には言及がなく、従来は「古典A」「古典B」で扱われていた内容でしたが、今回の改訂から必修科目の内容として扱われることとなります。

「指導上の留意点」

「古典」の指導に関しては、漢文において新たに日本漢文の指導が盛り込まれたことを除いて、大きな変化があるわけではありません。

一方、「近代以降の文章」の指導においては、「言語文化」の科目目標である「我が国の言語文化に対する理解を深める」という観点が必要となり、この点が現行課程の「国語総合」における小説学習とは大きく異なっています。従来のような定番小説もこれまで通り扱うことは可能ですが、言語文化に対する理解を深めるための指導を盛り込むことが必要となります。

(数研出版編集部)

*我が国の言語文化 「我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語そのもの、つまり、文化としての言語、また、それらを実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な言語生活、さらには、古代から現代までの各時代にわたって、表現し、受容されてきた多様な言語芸術や芸能など」[学習指導要領解説より]のこと。

新課程カリキュラム案(週 34 時間モデル)

2020 年10月
数研出版作成

教科	現行 課程	標準 単位	新課程科目	標準 単位	必 履修	共通		文系			理系				
						1 年	2 年(文系)	3 年(文系)	2 年(理系)	3 年(理系)					
国語	国総	4	現代の国語	2	◎	現代の国語	2								
	現文 B	4	言語文化	2	◎	言語文化	3								
	表現	3	論理国語	4				論理国語	2	→論理国語	2	論理国語	2	→論理国語	2
	古典 B	4	文学国語	4				文学国語	2	→文学国語	2	文学国語	2	→文学国語	2
	現文 A	2	国語表現	4											
	古典 A	2	古典探究	4				古典探究	2	→古典探究	2	古典探究	2	→古典探究	2
数学	数学 I	3	数学 I	3	◎	数学 I	3								
	数学 II	4	数学 II	4		数学 II	1	→数学 II	3		→数学 II	3			
	数学 III	5	数学 III	3							数学 III	1	→数学 III	3	
	数学 A	2	数学 A	2		数学 A	2								
	数学 B	2	数学 B	2				数学 B	1	→数学 B	1	数学 B	1	→数学 B	1
	活用	2	数学 C	2				数学 C	1	→数学 C	1	数学 C	1	→数学 C	1
地理歴史	地理 A	2	地理総合	2	◎			地理総合	2		地理総合	2			
	地理 B	4	地理探究	3				地理探究				地理探究			
	日史 A	2	歴史総合	2	◎	歴史総合	2								
	世史 A	2													
	日史 B	4	日本史探究	3				日本史探究	3	日本史探究	3	日本史探究	2	日本史探究	2
	世史 B	4	世界史探究	3				世界史探究	2	世界史探究	2	世界史探究	2	世界史探究	2
公民	現社	2	公共	2	◎	公共	2								
	倫理	2	倫理	2				倫理	2		倫理	2	倫理	2	
	政経	2	政治・経済	2				政治・経済	2		政治・経済	2	政治・経済	2	
理科	科人	2	科学と人間生活	2	△										
	生基礎	2	生物基礎	2	△	生物基礎	2								
	化基礎	2	化学基礎	2	△	化学基礎	2				(基礎科目の終了後に 高学年科目に入る)				
	物基礎	2	物理基礎	2	△			物理基礎	2		物理基礎	2			
	地基礎	2	地学基礎	2	△			地学基礎	2		地学基礎	2			
	生物	4	生物	4				生物	2	→生物	2	生物	2	→生物	3
	化学	4	化学	4				化学	2	→化学	2	化学	2	→化学	4
	物理	4	物理	4				物理	2	→物理	2	物理	1	→物理	4
	地学	4	地学	4				地学	2	→地学	2	地学	1	→地学	4
	課題研	1													
体育健	保健	2	保健	2	◎	保健	1	保健	1		保健	1			
	体育	7~8	体育	7~8	◎	体育	3	体育	2	体育	3	体育	2	体育	3
芸術	芸術 I	2	芸術 I	2	◎			芸術 I	2		芸術 I	2			
	芸術 II	2	芸術 II	2											
	芸術 III	2	芸術 III	2											
英語	コミ I	3	英語コミュニケーション I	3	◎	英コミ I	4								
	コミ II	4	英語コミュニケーション II	4				英コミ II	4		英コミ II	4			
	コミ III	4	英語コミュニケーション III	4						英コミ III	4	英コミ III	3		
	表現 I	2	論理・表現 I	2		論理・表現 I	2								
	表現 II	4	論理・表現 II	2				論理・表現 II	2		論理・表現 II	2			
	基礎 英会話	2	論理・表現 III	2				論理・表現 III	2		論理・表現 III	2			
家庭	家庭基礎	2	家庭基礎	2	△			家庭基礎	2		家庭基礎	2			
	家庭総合	4	家庭総合	4	△										
情報	社情	2	情報 I	2	◎	情報 I	2								
	情科	2	情報 II	2				情報 II*	2		情報 II*	2			
理数			理数探究基礎	1		理数探究基礎*	1								
			理数探究	2~5							理数探究	1	理数探究	1	
総合	総合	3~6	総合的な探究の時間	3~6	◎	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1		
HR	HR	1	ホームルーム活動	1	◎		1		1		1		1		
			合計				34		34		34		34		

◎：必修科目 △：選択必修科目 「→」：履修継続（科目の変更の場合も含む）「」：科目選択

新課程カリキュラム案(週 30 時間モデル)

2020年10月
数研出版作成

教科	現行課程	標準 単位	新課程科目	標準 単位	必 履修	共通		文系			理系				
						1年	2年(文系)	3年(文系)	2年(理系)	3年(理系)					
国語	国総	4	現代の国語	2	◎	現代の国語	2								
	現文 B	4	言語文化	2	◎	言語文化	2								
	表現	3	論理国語	4				論理国語	2	→論理国語	2	論理国語	2	→論理国語	2
	古典 B	4	文学国語	4				文学国語	2	→文学国語	2	文学国語	2	→文学国語	2
	現文 A	2	国語表現	4											
	古典 A	2	古典探究	4				古典探究	2	→古典探究	2	古典探究	2	→古典探究	2
数学	数学 I	3	数学 I	3	◎	数学 I	3								
	数学 II	4	数学 II	4				数学 II	2	→数学 II	2	数学 II	4		
	数学 III	5	数学 III	3									数学 III	4	
	数学 A	2	数学 A	2		数学 A	2								
	数学 B	2	数学 B	2				数学 B	1	→数学 B	1	数学 B	1	→数学 B	1
	数学 C	2	数学 C	2				数学 C	1	→数学 C	1	数学 C	1	→数学 C	1
	活用	2													
地理歴史	地理 A	2	地理総合	2	◎			地理総合	2			地理総合	2		
	地理 B	4	地理探究	3						地理探究			地理探究		
	日史 A	2	歴史総合	2	◎	歴史総合	2								
	日史 B	4	日本史探究	3				日本史探究	2	→日本史探究	2		日本史探究	4	
	世史 B	4	世界史探究	3				世界史探究	2	→世界史探究	2		世界史探究		
公民	現社	2	公共	2	◎	公共	2								
	倫理	2	倫理	2						倫理			倫理		
	政経	2	政治・経済	2						政治・経済			政治・経済		
理科	科人	2	科学と人間生活	2	△										
	生基礎	2	生物基礎	2	△			生物基礎	2			生物基礎	2		
	化基礎	2	化学基礎	2	△	化学基礎	2					化学基礎	2		
	物基礎	2	物理基礎	2	△			物理基礎	2			物理基礎	2		
	地基礎	2	地学基礎	2	△			地学基礎	2			地学基礎	2		
	生物	4	生物	4						生物			生物		
	化学	4	化学	4						化学	2		→化学		
	物理	4	物理	4						物理			物理		
	地学	4	地学	4						地学			地学		
	課題研	1													
体育健	保健	2	保健	2	◎	保健	1	保健	1			保健	1		
	体育	7~8	体育	7~8	◎	体育	3	体育	2	体育	3	体育	2	体育	3
芸術	芸術 I	2	芸術 I	2	◎	芸術 I	2								
	芸術 II	2	芸術 II	2											
	芸術 III	2	芸術 III	2											
英語	コミ I	3	英語コミュニケーション I	3	◎	英コミ I	3								
	コミ II	4	英語コミュニケーション II	4				英コミ II	4			英コミ II	4		
	コミ III	4	英語コミュニケーション III	4						英コミ III	4		英コミ III	4	
	表現 I	2	論理・表現 I	2		論理・表現 I	2								
	表現 II	4	論理・表現 II	2				論理・表現 II	2			論理・表現 II	1	→論理・表現 II	1
	基礎	2	論理・表現 III	2						論理・表現 III	2				
英会話	2														
家庭	家基礎	2	家庭基礎	2	△			家庭基礎	2			家庭基礎	2		
	家総合	4	家庭総合	4	△										
情報	社情	2	情報 I	2	◎	情報 I	2								
	情科	2	情報 II	2						情報 II*			情報 II*		
理数			理数探究基礎	1								理数探究基礎	1		
			理数探究	2~5								理数探究基礎	1		
総合	総合	3~6	総合的な探究の時間	3~6	◎	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1		
HR	HR	1	ホームルーム活動	1	◎		1		1		1		1		
			合計				30		30		30		30		

「演習」は学校設定科目とした。通常科目の増単位の中で扱うこともある。「*」の「理数探究基礎」「情報 II」は、他科目を選択することもある。